

第三〇六回俳都松山俳句ポスト

第三〇六回開函

「櫟」副主宰 櫟部 天思 選

特選三句

梅雨夕焼波郷の海に溢れけり

愛媛県松山市 行本 奈智子

龍天に昇るや足湯から足湯

大阪府松原市 山田 泰三

伊予の湯に女四代夕涼し

大阪府大阪市 川山 照子

入選二十句

(市外)

新緑の幹に飾りし兜かな

埼玉県さいたま市 山積 弘信

うぐひすの声ききながら経を読む

神奈川県平塚市 山口 正壽

木の芽味噌上人坂の伊月庵

神奈川県小田原市 松本 研司

うらかな朝湯にとけてゆく私

千葉県習志野市 原 恭輔

新婚の妻と自転車夏近し

神奈川県横須賀市 高橋 美佐子

春昼の空也は宙に何吐かん

徳島県阿南市 高木 閑人

薰風や俳句ポストに子規の顔

愛媛県伊予市 重藤 民雄

聞き上手話上手や春炬燵

愛媛県新居浜市 笹井久江

薰風や句碑をかぞへて宝巖寺

愛知県稲沢市 斉藤美由紀

電停の枕木軋む城の春

神奈川県横浜市 菅野秀

薄氷を割る初めてのひとり旅

愛知県犬山市 大川宝香

薰風の子規の横顔拝しけり

愛媛県大洲市 板倉肱泉

子規堂に小さき文机花の雨

滋賀県彦根市 赤木和代

(市内)

兄と聴く水琴窟や青嵐

愛媛県松山市 山口理奈子

城を背に島を数ふる花見かな

愛媛県松山市 福井和彦

五月晴網の上から磯香る

愛媛県松山市 橋宏司

緋織る母はまなうら星涼し

愛媛県松山市 沖村むつ子

飛花落花石手の水のやはらかく

愛媛県松山市 岩瀬啓子

(十五歳以下)

花びらがおちつくまでのおにごっこ

愛媛県松山市 八丈野 椰月

新緑やリモートつなぐ鍵谷祭

愛媛県松山市 寺林隼

伊予灘ものがたり賞

桜咲く列車の窓に近寄りて

愛媛県伊予市 福井恒博

投句総数	二、〇八三句
市外	一、二八五句
市内	七九八句
投句者総数	一、三〇四人
市外	八五五人
市内	四四九人

開函日

令和四年五月三十一日